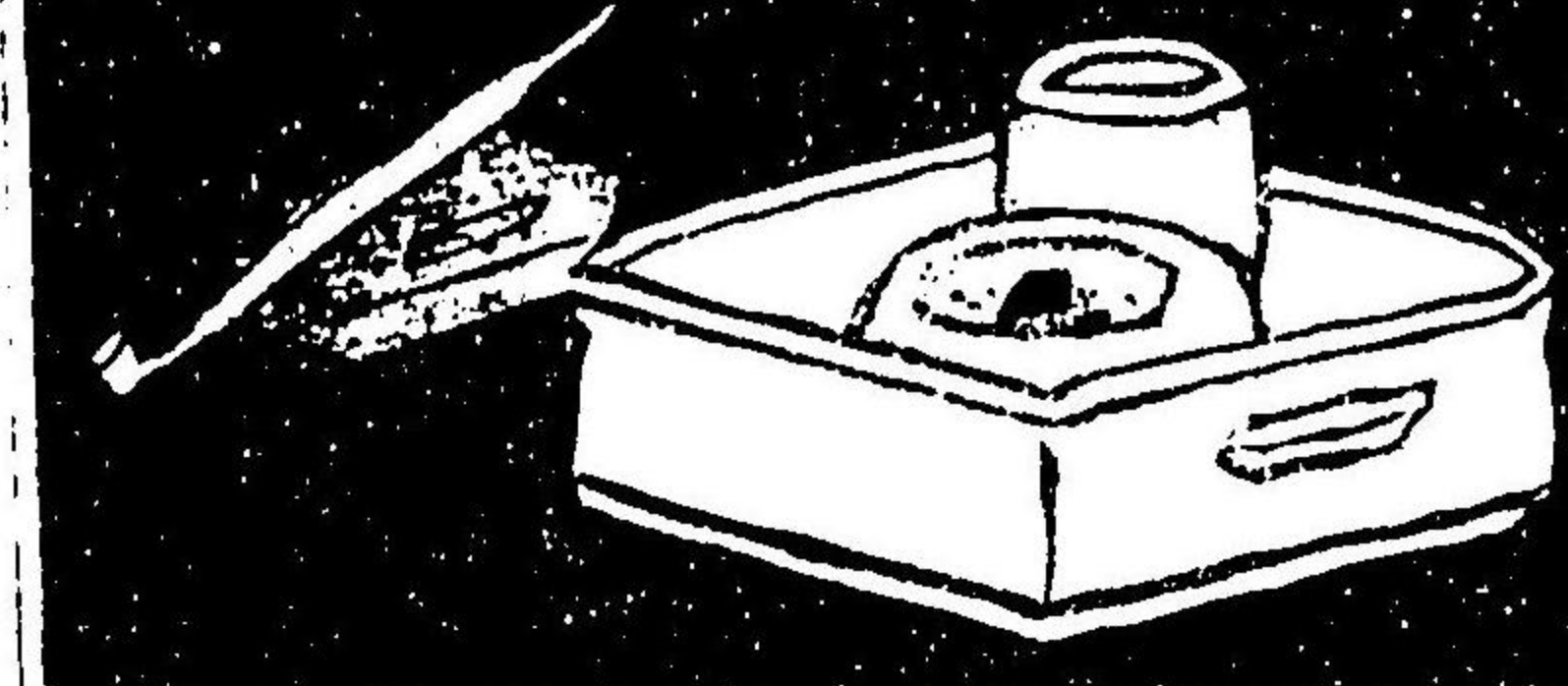




特42

907

水たゆみしるは隅田の河を舟の
 いとくしる身ぎふはがた
 前じはあまう福路
 近きその河がき
 舟は流るゝとのちた



水錦隅田曙第二編自序
 曩は物せし水の錦は書房が需は應ぜしまみく。耻るやう
 き所業なまど。初篇の筆と採しものころ。我面白の人喧し
 具眼の方云へを更なり。幼兒女もをり以遣り捨らま。
 水野の流は絶果る。隅田の塘の長々と。言の葉草の繁
 るみはつと。吾儕の愚筆と顧る居りしが。僥倖ありて
 愛顧と賜り。後如何ぞ二編の出げやと。陸續仰せら有
 難しと。書房の特は雀翻み。嗣編と書糸の注文は嬉した
 まみ気も来て。夜延仕事は禿筆押採り。先づ此稿と果せし
 と。腹の打幕うち開て。序文めりと言と述る

明治十二年己卯五月

橋塘伊東専三



水錦隅田曙

水野めしる陽田の如きもの
 いとくし専ぎふはがた
 前じはあまう福路
 辻をさう河がを
 予ん就通んとのまら



水錦隅田曙第二編自序

最よ物せ水の錦の書房が需よ應せしきみく。耻るやう
 き所業なまど。初篇の筆と採りのころ。我面白の人喧し
 具眼の方云へを更なり。幼児女もをうの遣り捨らま
 水野の流と絶果る。隅田の塘の長々と。言の葉草の繁
 るふつと。吾儕の愚筆と顧を居り。陸倅し
 愛顧と賜り。後の如何を二編の出ゆやと。陸續作せ有
 難し。書房の特は雀翻なり。嗣編と書糸の注文ハ嬉し
 まふ気も乗て。夜延仕事は禿筆押採り。先づ此稿を果せし
 と。腹の打幕うち開て。序文めうと言と述る

明治十二年己卯五月

橋塘伊東専三





○片瀬
六三郎

○尾張屋
喜右衛門



○再出
藝妓
おきん

○録田
庄次郎
本名



○田原
三太郎

○山田
作兵衛

二編上のまゝ

備もおまの娘を
越えぬく春の
どきどき方も
ぬく古郷を平升村へ
越えて暫くその身を
悪んといひをりふ
をりぬた小村升村
まをまじし処處面
ある由者があ六人
現はる者自枝刀を
白と黒へうへを
るく懐中の金と



▲平升村の己の家人能を
まをまじし処處面
ある由者があ六人
現はる者自枝刀を
白と黒へうへを
るく懐中の金と



○田原
三次郎

○山田
作兵衛

二編上のまげ

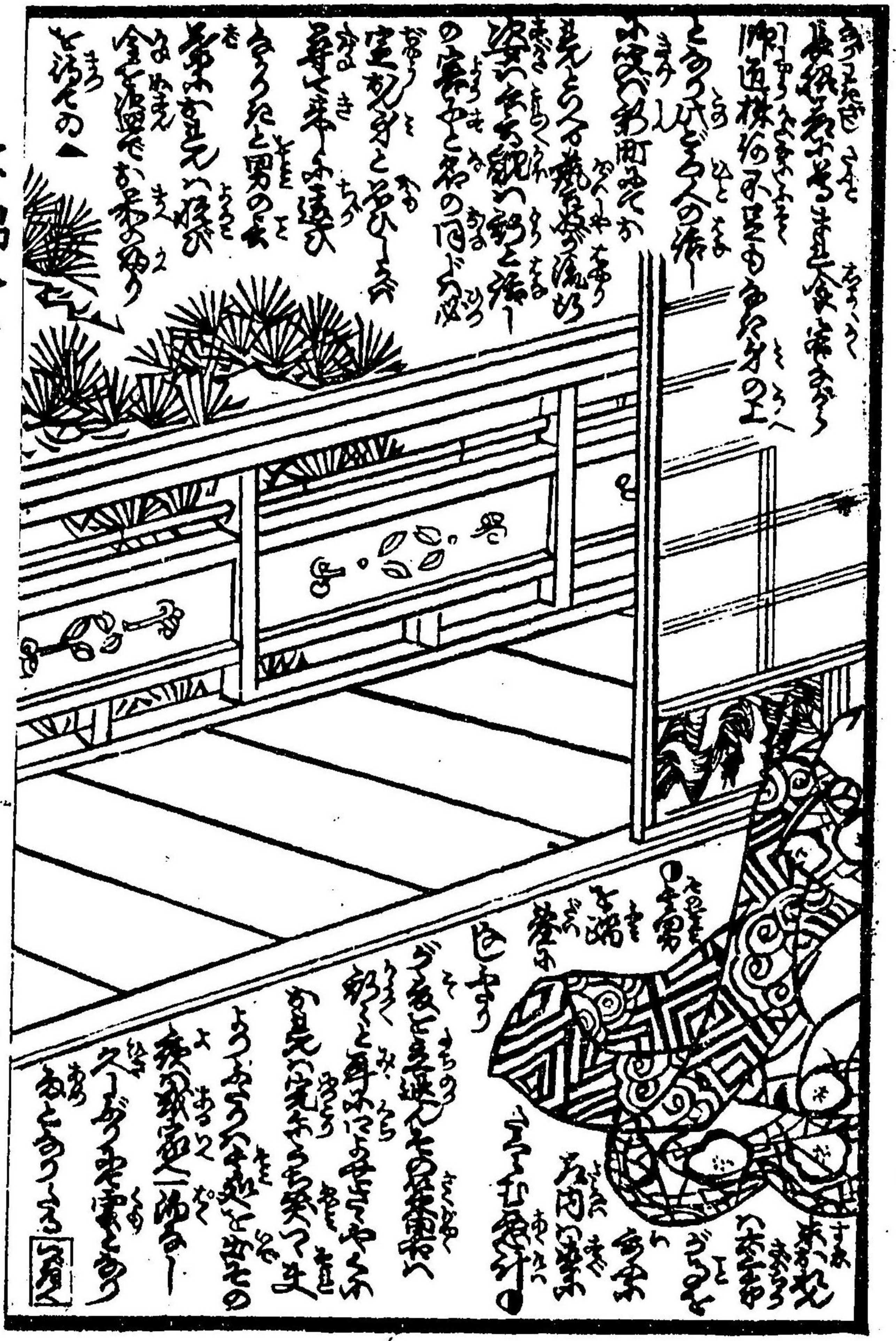


備もおまへの様と糸
扱えぬく人なれ
どまぐり方もはあ
ぬが舌餅多平井村へ
越たて替一その身と
君んとひらもりふ
毛りゆた小村井村
まを多し知後而
ある由者が六人
現とまを自枝刀で因う威一
白と並べ一人とひら切持人持ひやあ足地
まぐ懐中の金とあまど流しやうを揚々取とる

▲平井村の初巳の夜人能を家のまじり何ま
まみまへまからしむるのゆかへりゆんののこ
またらはひら村かひけまら人の流しゆま
と初まの流しゆかへりゆま

▲まぐりゆま
ゆき青もあまのりゆ
ゆ地人あつ後ち極
まぐりゆま











おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか

おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか



おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか

おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか
 おのれはさういふ人か
 御座りませうか



水

振替とさしお果物と
多に田舎の
後始末
おま
おま
おま

おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま

おま
おま
おま

おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま



水

おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま

おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま

おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま
おま

おま

おま

此の薬は、世に珍らしい薬で、
 昔の昔、ある国に、
 大いなる病が流行し、
 民衆は苦しんで、
 死んでいく者が、
 多くを、
 見た。

此の薬は、世に珍らしい薬で、
 昔の昔、ある国に、
 大いなる病が流行し、
 民衆は苦しんで、
 死んでいく者が、
 多くを、
 見た。

三編上の巻を全

官 朝鮮
 許 牛 肉 丸
 名法
 大包代二十五錢
 中包代十二錢五厘
 小包代六錢五厘

官 たんせいぎの茶
 許 天 泰 丸
 一包代三錢五厘

此天泰丸、
 小児百病を治す
 一切の世に、
 功効速くあり
 一服して、
 病が癒え、
 死んでいく者、
 多くを、
 見た。

出板御届明正二年五月八日
 金 地 本 問 屋
 錦 繪
 金 松 堂

浅草花川一番地
 伊東三郎方問屋
 編輯人 伊 東 專 三
 日本橋區橋本三丁目一番地
 出板人 辻 岡 文 助

